

東淀川区

ごみゼロ



リーダー

ニュース

第17号

令和4年3月発行

東淀川区フードドライブを開催しました

令和4年2月8日(火) 13時30分から15時30分まで東淀川区役所一階エレベーター前にて、第1回目のフードドライブを開催しました！

おかげさまで、インスタント食品124点、レトルト食品41点、合計303点。重量にして73kgの食品の提供をしていただきました。

お持ちいただいた方々からは、「待ってました」「やっと開催してくれるところことができました」など、よろこびのお声ももらい、提供していただきました食品等を、東淀川区社会福祉協議会と生活協同組合おおさかパルコープに無償で譲渡いたしました。



初開催に向けての周知にご協力いただき
ありがとうございました。

第9期ごみ減量等推進員の皆さまにおかれましては、新型コロナウイルス感染症が拡大されるなか、ごみ減量・リサイクルにご尽力いただき、誠にありがとうございました。

今後ともごみの減量・リサイクルにご協力いただきますようお願いいたします。

新たなプラスチックごみによる海洋汚染ゼロをめざして 「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」推進事業

プラスチックは、その軽量性や断熱性、衛生的な特性により、食品の容器や医療機器から、住宅のエネルギー効率の改善まで、様々な分野において社会的課題の解決に貢献してきました。

一方で、ポイ捨てなど適切な処理がされずに海洋に流出したプラスチックごみが、生態系を含めた海洋環境の悪化や、景観への悪影響、漁業や観光への影響など、様々な問題を引き起こしています。

世界全体でみると、プラスチック製品が使用後に有効利用される割合は未だ低く、また、ポイ捨てなどにより陸上から海洋へ流出するプラスチックごみが年間数百万トンを超えると推計されており、このままでは 2050 年(令和 32 年)に海洋環境に蓄積したプラスチックごみの量が魚の重量を上回ると予測されています。

そこで、2025 年(令和 7 年)に大阪・関西万博を控える大阪府、大阪市は、2019 年(平成 31 年)1 月に、「おおさかプラスチックごみゼロ宣言」を共同で行い、プラスチックの資源循環を推進し、プラスチックごみによる河川や海洋の汚染防止に率先して取り組みを進めています。

近年はマイクロプラスチック(一般に 5 ミリメートル以下の微細なプラスチック類をいう。)による海洋生態系への影響も懸念されています。マイクロプラスチックは、プラスチックごみが波や紫外線等の影響により破壊されて小さくなることにより生成されるほか、洗顔料や歯磨き粉などにスクラブ剤として使われているプラスチック粒子の流出や、合成繊維の衣料の洗濯等によっても発生します。具体的な影響は必ずしも明らかにはされていませんが、マイクロプラスチックの表面に有害物質が付着しやすいとの指摘があるなど、生態系への影響が懸念されています。

◇「新たなペットボトル回収リサイクルシステム」について

現在、資源ごみとして行政が回収している家庭から排出されるペットボトルについて、地域コミュニティと事業者が連携・協働して回収することにより、地域の活性化を図るとともに、分別に対する意識をより高めていくことで、さらなるごみの減量・リサイクルを推進します。

また、分別を徹底し、質の高いペットボトルを回収することにより、ボトルからボトルを作るといったマテリアルリサイクルを促進し、プラスチック資源循環を推進します。

さらに、質の高いペットボトルは市場性が高く、分別して回収することに経済合理性があることから、コミュニティビジネスの要素を取り入れることで、自律的な地域運営へ寄与し、活力のある地域づくりに貢献します。

プラスチックごみ削減のご協力をお願いします。



《編集・発行》

大阪市 環境局 東北環境事業センター

大阪市 東淀川区上新庄1-2-20

TEL: 06-6323-3511